

競技注意事項

1. 規則

競技は2021年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会要項、申し合わせ事項による。なお、2021年度日本陸上競技連盟競技規則TR16.5の適用はしない。

2. 練習

- (1) 練習については、基本的には陸上競技場外とする。一般利用者に迷惑のかからないように注意すること。また、競技の進行上バックストレートが空いている場合ウォーミングアップ場として許可する場合もある。安全面に十分注意して行うこと。
- (2) 会場への投擲物持ち込みは禁止とし、練習は現地集合後に本競技場に入場してから行う。
- (3) フィールド競技の練習は、競技開始前に審判の指示により競技場内で行う。
- (4) 器具を使用後は、手洗いをする。

3. 競技場とスパイクの使用

- (1) 本競技場は全天候型である。
- (2) 使用できるスパイクのピンの長さは、走高跳12mm以下、その他は9mm以下とし、その数は11本以内とする。また、先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するものでなければならない。
- (3) シューズ（スパイク・ランニングシューズ含む）の靴底（ソール）全体の厚さは以下の通り。
走高跳：20mm以内（かかと含む）
走幅跳：20mm以内（ただし前部が踵部より厚くなってはならない）
砲丸投：20mm以内
トラック種目：800m未満の種目は20mm以内、800m以上の種目は25mm以内

4. 招集

- (1) 選手は競技開始の120分前～60分前までにJAAF健康管理チェックシート兼大会出場承諾書をTICへ提出すること。（押印欄に押印のないものは受け付けない。未提出者は競技に参加することはできない。）また、受付の際荷物入れ用のビニール袋を受け取る。なお、翌日のラウンドに進出した選手は、競技開始の120分前～60分前までにTICにて検温を受けること。
- (2) 選手受付(招集)をしていない者は棄権とみなし出場を許さない。
- (3) 選手（長距離と砲丸投げ）は、TICにてシューズの靴底の厚さのチェックを受けなければならない。その他の種目については、各種目の招集場所で確認してもらうこと。
- (4) 集合完了時刻（集合完了時刻については、「競技順序」を確認すること）までに下記の場所に集合する。荷物は各自で管理すること。

◇1000m・1000mH・1100mH・4×1000mR（4走）	1000mスタート付近
女子四種1000mH, 男子四種1100mH	2000mスタート付近
◇2000m・3000m・4×1000mR（3走）・女子四種2000m	1500mスタート付近
◇1500m・4×1000mR（2走）	フィニッシュ付近
◇400m・800m・4×1000mR（1走）・男子四種400m	走高跳ピット
◇走高跳, 四種走高跳	棒高跳ピット
◇棒高跳	走幅跳ピット
◇走幅跳	砲丸投ピット
◇砲丸投, 四種砲丸投	
- (5) トラック種目の競技者は、出発係から腰ナンバーカード（レーンナンバーカード）を受け取り、右尻部につけること。（リレー競技は第4走者のみ）競技終了後、腰ナンバーカードを外し、ゴール付近のかごに入れること。
- (6) 混成競技について
書類を提出した後、各競技場所で招集を受けること。
※フィールド種目は競技開始30分前、トラック種目は15分前までに、競技場所に集合すること。
※2日目については、競技開始の120分前～60分前にTICで検温を受けること。

5. 入退場

- (1) 入場についてはマーシャルの指示・誘導に従う。
- (2) トラック競技は、レース終了後腰ナンバーカードを係に返却し、第1ゲート付近臨時手洗い場で手洗いをしてスタート付近に戻り、荷物を持って待機場所へ戻ること。
- (3) フィールド競技は、競技終了後に荷物を持って100mスタート付近出入口又はフィニッシュ付近出入口の臨時手洗い場で手洗いをして待機場所へ戻ること。

6. アスリートビブス

- (1) アスリートビブスは千葉県小中学校体育連盟陸上競技専門部指定のものを使用する。
- (2) アスリートビブスは胸（腹ではない）と背にしわにならないように四隅をしっかりとつけ、切ったり曲げたりしてはならない。但し、跳躍種目は1枚を胸または背のどちらかにつけるだけでよい。

7. 走路順

トラック競技の予選の組、走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選しプログラムに数字で示し、決勝の組・走路順は本部で抽選し、アナウンス及び速報サイトにて掲載する。

8. 棒高跳支柱移動申告について

各競技者は、競技開始15分前までに当該審判に自分の希望する支柱の位置を申告すること。もしも競技者がその位置を変更したいときは直ちに当該審判員に申告すること。

9. 3000mのスタート方法、給水について

3000mにおいてグループスタートを採用する場合のスタート方法は、各組のおよそ3分の2までが内側スタート、残りが外側スタートとする。なお、その際スタート10m以内には内側外側を分ける縁石は置かない。〔TR17.5.2〕また、気象条件によっては給水を行う。

10. オープンレーンについて

男女800m競走はブレイクラインの交差する直前の各レーンに黄色の角柱（もしくは代用縁石）を置くこと。〔TR17.5.1〕

11. リレー競技について（リレーオーダー用紙はT I Cに準備）

- (1) リレー競技に出場するチームはリレーオーダー用紙に必要事項を記入し、集合完了時刻の60分前までにT I Cに提出のこと。ラウンド毎に提出すること。
- (2) リレー競技においては、チームの出場者は同一ユニフォームを着用することが望ましい。
- (3) リレーのマーカの使用は1カ所とする。〔TR 24. 4〕

12. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方

- (1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

	練習	1	2	3	4	5	
共通 男子走高跳	1m55・70	1m60	1m65	1m70	1m73	1m76	以降3cmずつ
共通 女子走高跳	1m35・48	1m40	1m45	1m48	1m51	1m54	
共通 男子棒高跳	3m20・60・4m00	3m20	3m40	3m50	3m60	3m70	以降10cmずつ
共通 女子棒高跳	2m30・60・3m00	2m30	2m40	2m50	2m60	2m70	
男子 四種走高跳	1m35・50	1m40	1m45	1m50	1m53	1m56	以降3cmずつ
女子 四種走高跳	1m20・30	1m24	1m27	1m30	1m33	1m36	

- (2) 第1位に関わる競技者が同成績の場合は、ジャンプオフ（第1位決定戦）のためのバーの上げ下げの範囲は走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。〔TR 26. 9. 4〕

13. 番組編成

100mから800mまで、また4×100mRで決勝の番組編成は、上位1～4位の4名、または4チームを中央の3～6レーンに、5、6位が7、8レーン、下位2名または2チームを1、2レーンにアトランダムに割り当てて決定する。

14. 計時・競技の抽選

- (1) 競走競技はすべてのレースにおいて写真判定を採用する。
- (2) トラック競技においてプラス進出者を決める場合、その最下位で同タイム者が出たときは下記の方法で競技を行う。
 - ア、400m以下の競走競技、障害走、リレーにおいては、1000分の1秒以上の比較をし着差の判定をする。それでも判定できない場合は、競技者又は代理人によって抽選をして決定する。
 - イ、800mにおいては、アと同様に比較し、それでも判定できない場合は、次のラウンドに進める。（レーン内に2名の競技者が走る）
 - ウ、1500m、3000mの同タイム社は、次のラウンドに進める。

15. 不正スタートについて

不正スタートした競技者はすべて失格とする。ただし、混成競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者は、全て失格とする。2021年度日本陸上競技連盟競技規則第TR 16. 5の適用はしない。

16. フィールド競技について

- (1) 走幅跳、砲丸投は3回の試技とする。記録上位8名がトップ8へ進出し、さらに3回の試技を認める。
- (2) 棒高跳、砲丸投について、棒高跳、砲丸投で使用使用する滑り止めは各自で準備をし、滑り止めを他人と共有はしない。

17. 用器具

- (1) 棒高跳のポール以外は競技場備え付けのものを使用する。
- (2) 棒高跳のポールは本部の公式計測員（技術総務）の検査を受けてから使用する。

18. 抗議

発表された結果に対する抗議は、正式発表後（全てのラウンドにおいて15分以内、ただし翌日に上位ラウンドがある競技は30分以内）に各顧問がT I Cを通じて審判長に対して口頭で行い、控室で待機する。さらに、この裁定に不満の場合は預託金10,000円を添えて、担当総務員（ジュリー）に文書で申し出る。

19. 表彰

表彰は簡易的に行う。8位入賞者はアナウンスの結果やWEBの大会速報を見て、表彰テント（TIC隣）に集合すること。服装については、ユニフォームではなくチームウェア（Tシャツ、ジャージ）等を着用すること。

20. その他

- (1) 記録の発表は、アナウンス及びWEBの大会速報のみとする。記録の掲示はしない。
- (2) 各自の持ち物については自分自身で管理し、盗難に注意する。
- (3) ゴミについては必ず持ち帰ること。競技場、駅、バス停などに絶対に捨てないこと。
- (4) 選手の控え場所としては、1日目・2日目は自由運動広場、陸上競技場周辺木陰、体育館ギャラリーとする。3日目は競技場内芝生スタンド、陸上競技場周辺木陰を使用すること。
- (5) プログラムの記載事項の訂正については、競技開始1時間前までに、申込責任者がT I Cへ届け出ること。
- (6) 競技中に発生した事故などについては応急処置を主催者で行うが、以降の責任は負わない。また、体調が悪くなった選手は医務員の指示に従うこと。
- (7) レースを棄権する競技者は棄権届をT I Cで受け取り、必要事項を記入の上競技1時間前までにT I Cへ提出すること。
- (8) 本大会で全国大会への出場権を得た競技者と顧問監督は必要書類を総務員席で受理し説明を聞くこと。
- (9) 選手は、競技中以外はマスクを着用すること。